



「科学と芸術の丘 2025」の開催（リリース最終版）

～新エリアとして松戸中央公園を追加・

「The Garden Experiment」プロジェクトの始動～

10月24日（金）～26日（日）に開催の「科学と芸術の丘 2025」は、戸定が丘歴史公園エリアの他、新エリアとして松戸中央公園においても相模台の歴史に触れるアート作品の鑑賞やワークショップを開催します。また千葉大学園芸学部戸定祭（25日（土）・26日（日）開催）とも連携し、来場者の行き来を促します。

また、本年度作品展示を行う在日スイス大使館・科学技術部と、次年度の作品展示に向け、自然科学とアートの両面から迫るプロジェクトを今年度から始動します。

- 日時 10/24（金）～26（日）10時～16時30分（26日は16時迄）
- 場所 戸定邸・戸定が丘歴史公園、松戸中央公園、まち（松戸駅周辺）ほか
- 内容 作品展示、トークイベント、ワークショップ、マルシェ等
- チケット 戸定邸での作品展示・トークイベントにはチケットが必要です。
市民（市在住・在勤・在学者）：500円 / 中学生以下無料
一般1,500円（前売1,000円） / 高校生・大学生1,400円（前売900円）

I 戸定が丘歴史公園エリア

(1) 戸定邸・松雲亭での作品展示

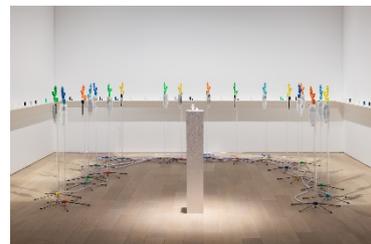
微生物や蜜蝋など自然科学をテーマにした作品が目玉となっています。



《INVISIBLES：微生物たちの隠された世界》 微生物の世界を紹介
© Musée de la main UNIL-CHUV



《Floral Whispers》
蜜蝋でできたレコードの再生
photo: Arnold Estefán



《とほく おもほゆ》人工呼吸器を用いたインスタレーション

(2) 昆虫観察と作品鑑賞会のワークショップ

公園内の昆虫を探すアウトドアワークショップやおしゃべりしながらの作品鑑賞会を開催します。



photo: Yoshiaki Suzuki

(3) 丘のマルシェ（梅園）

ハンドドリップコーヒー、季節の焼き菓子など、こだわりの品々が並びます。

(4) 千葉大学園芸学部戸定祭との連携

回廊門の開放、丘のマルシェでのワッフル・ジャムの販売、スタンプラリーの実施等を実施します。





やさシティ、まつど。
matsudo

II【新エリアとして拡大】松戸中央公園エリア

10/25(土) - 10/26(日)の2日間限定のサテライト会場として、相模台の歴史が残る自然豊かな公園内で、より気軽に、作品鑑賞やワークショップ体験ができます。



《大蹴球》
5人で1つの服を着るパフォーマンス



《ニューセレモニーのお葬式を
考える日》



《ワイルド^{おろよんく}遅四駆をつくって
自然の中を走らせよう!》

III【新】「The Garden Experiment」1年間に渡る国際共同研究プロジェクト始動

今年度「INVISIBLES：微生物たちの隠された世界」の作品展示を行う在日スイス大使館・科学技術部と松戸市が連携し、土壌内の微生物の謎を解明する国際共同研究プロジェクトを始動し、研究結果の一部は、本芸術祭の次年度の作品展示とします。

本プロジェクトでは、自宅の庭や畑を持つ市民を「市民科学者」として募集し、身近な土壌の中にいる微生物の多様性や役割の謎に、自然科学と芸術の両面からアプローチします。実験には、戸定が丘歴史公園などの観光名所、農園、小・中学校等、松戸市内全域で参加し、市民の自然環境への理解や関心を促します。

協力いただける市民科学者等への説明会として、研究主体となる在日スイス大使館・科学技術部と産業技術総合研究所をお招きし、実験キットの配付等を行います。

【市民説明会】

- 日 時：2025/10/11(土) ①11:00～13:00 / ②14:00～16:00 (30分前開場)
- 会 場：松雲亭 (戸定が丘歴史公園内)
- 参加者：市民募集者40人(申込多数の場合は先着順)

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市小根本7-8 京葉ガスF松戸第2ビル6階
科学と芸術の丘実行委員会事務局
(松戸市文化スポーツ部文化スポーツ政策課)
☎047-712-1593 FAX047-711-6387
✉ mcbunkasports@city.matsudo.chiba.jp

松戸中央公園は、今年のテーマとシンボル「△」の一角を担う会場です。多層的な歴史をもつ相模台に位置するこの公園で、歴史を巡るツアーやアーティストによる展示、ワークショップ、トークに加え、フード＆ドリンクも楽しむことができます。

EXHIBITION

松戸中央公園は、小内光と三好彼流の作品を展示します。両者はそれぞれ独自の手法を確立しており、その表現は公園の風景や音環境と調和しつつも、異化をもたらし、私たちに新たな景色の見え方を提示します。



えねるぎの庭 / 可視光の練習
小内光 photo: akitsu sekkei



大蹴球
三好彼流 photo: Rintaro UNNO

WORKSHOP

この会場では多様なワークショップを実施します。かつて学舎のあったこの場所で、みんなで「遅さ」を競うマシンを作ったり、「勝手口」から現代美術を学んでみたり、明るく朗らかにお葬式について考えます。ぜひこれらのユニークな学びに参加してみてください。



出張！現代アートの勝手口
現代アート超入門&芸術祭 DEEP 鑑賞

中島晴矢・齋藤恵汰

10.25 日 / 10.26 日 各 13:30-15:30
※参加費 500円、要予約

美学学校で「現代アートの勝手口」を開講する2人のアーティスト（中島は松戸市在住）がレクチャーとワークショップを開催。現代アートを言語化するディスカッションやアウトプットを参加者の方々と共に実践していきます。



ニューセレモニーのお葬式を考える日

石毛健太+楊いくみ

10.25 日 11:00-12:30
※参加費無料、要予約

いつか迎える、自分や近い人やそうでもない人の死を弔う方法「お葬式」をアーティストと一緒に身体や会話を用いたゲームを通して考えてみましょう！一緒に参加した人の中で良さそうな意見があれば、自分のお葬式に採用してもいいかもしれません。



ワイルド遅四駆をつかって自然の中を走らせよう！

遅四グランプリ実行委員会

10.25 日 / 10.26 日 各 11:00-14:30
※お昼休憩あり / 参加費 2000円、要予約

前半は遅いミニ四駆（遅四駆）づくり、後半は自作のマシンでレースを行い、一番遅いチャンピオンを決めます！明治から大正にかけて12年間だけ競馬場として賑わったという歴史を持つ松戸中央公園を舞台に遅きレースを楽しみましょう！

TALK

トークでは、ジャンルを横断して活躍する2人のアーティスト、小宮りさ麻史奈と穴倉志信にそれぞれの活動について紹介いただきます。また、土日の朝に松戸中央公園にある遺構を巡り、土地の歴史を紐解くミニツアーを行います。

※参加費無料、予約不要・先着順

10.25 日

10:30-11:00 カタリストスタッフとゆく・朝の歴史散歩

10.26 日

10:30-11:00 カタリストスタッフとゆく・朝の歴史散歩
12:00-13:00 小宮りさ麻史奈
14:30-15:30 穴倉志信

MARCHE

混沌食堂 Produced by Tinykitchen and counter

「カオスが感覚のボーダーを破壊する」

屋外空間に突如現れた異質な食堂。ここでは食べるという根源的な行為を通じて、鑑賞者はただ見る存在から語り、考え、創造する参加者へと変わっていく。境界は揺らぎ、人と文化が交わり、混沌は不快でも無秩序でもなく、新しい価値を生み出す触媒となる。



OUTLINE | フェスティバル概要

科学と芸術の丘は、創造性豊かな"クリエイティブ・シティまつど"を目指す松戸市と、クリエイティブな活動を実践するメンバーや世代を超えた多くの市民や有志の皆さんと共に、徳川昭武の核心の歴史が残る戸定が丘をメイン会場に開催する国際フェスティバルです。

今年のテーマは「Delta of Creativity - 創造の△-」。多様性が広がる松戸の地で、見る人の数だけ異なるイメージが立ち上がる「△」を手がかりに、新たな未来を創造するエキシビジョン、トーク、ワークショップ、マルシェ、まちのカタリストイベントを行います。

ACCESS | 会場へのアクセス

AREA 02 まち (松戸駅周辺)

・カタリストイベント他

アクセス | 松戸市内各所
(詳しくは、公式サイト/街MAPをご参照ください)

AREA 03 松戸中央公園 ※10.25 SAT / 10.26 SUNのみ

・展示/トーク/ワークショップ/マルシェ

アクセス | JRまたは京成松戸線「松戸駅」東口下車徒歩約4分
※会場には専用駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

メイン会場 | MAIN AREA

AREA 01 戸定邸

・展示/トーク/ワークショップ/丘のマルシェ

アクセス | JRまたは京成松戸線「松戸駅」東口下車徒歩約10分
無料(乗用車46台、バス6台)
※バスのみ要予約
※駐車場は台数に限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。

戸定邸MAP

千葉大学園芸学部 通用門 (同時開催！) 戸定祭 (10/25~26) 戸定祭と連携したスタンプラリーを実施

梅園 Plum Garden 丘のマルシェ 松雲亭 Shoun-tei Pavilion 展示会場 戸定歴史館 Tojo Museum of History 入口 Entrance

至 柏 ▲ 至 上野・北千住 ▼



《仮想通貨奉納祭 (サーバー神輿)》市原えつこ・渡井大己 photo: Hajime Kato
科学と芸術の丘 2019

科学、芸術、自然をつなぐ
国際フェスティバル

10.24 FRI
↓
26 SUN

科学と芸術の丘



Matsudo International Science Art Festival

2025

創造の△
DELTA OF CREATIVITY

日時 | 2025年10月24日(金) 10:00-16:30 / 25日(土) 10:00-16:30 / 26日(日) 10:00-16:00
会場 | 戸定邸・松雲亭・戸定が丘歴史公園・松戸中央公園・松戸市内各所

チケット | 事前購入: 1,000円(一般)、900円(高校・大学生)
当日購入: 1,500円(一般)、1,400円(高校・大学生)
松戸市民割: 500円
※中学生以下無料、同伴者の方はチケットが必要になります。
※ワークショップへの申し込みは別途参加費がかかります。
※戸定邸・戸定歴史館への入館も可能です。

参加方法 | 展示は予約不要です。ワークショップ・トークなどの参加受付は10月1日より、WEBサイトにて予約開始(先着順)
お問い合わせ | 科学と芸術の丘事務局(松戸市文化スポーツ政策課)
TEL: 047-712-1593(平日8:30-17:00) / 開催当日: 070-2269-2624
※当日撮影した写真・映像はWeb上で公開させて頂く場合がございます。
※駐車場は台数に限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。

主催: 松戸市、科学と芸術の丘実行委員会 | 企画運営: 科学と芸術の丘実行委員会 | パートナー: 在日スイス大使館・科学技術部、オーストリア文化フォーラム東京、NCCRマイクロバイオーム、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 バイオものづくり研究センター 微生物システム創発研究チーム | 協力: Ars Electronica (アルスエレクトロニカ)、千葉大学園芸学部 応用昆虫学野村研究室、遅四グランプリ実行委員会、あーとえきっぷ、戸定祭実行委員会、松戸アートビクニック実行委員会 | 協賛: 株式会社生物技術、株式会社ピーテック、株式会社むかし堆肥、株式会社アトレ、京葉ガス株式会社、マブモーター株式会社、ブルーレ松戸、イトーヨーカ堂 松戸店、KITE MITE MATSUDO、株式会社千葉銀行、株式会社千葉興業銀行、東京ベイ信用金庫 | ツアーサポート: 松戸シティガイド | 後援: JOBANアトライン協議会、松戸商工会議所、一般社団法人松戸市観光協会、公益財団法人松戸市文化振興財団、公益財団法人松戸市国際交流協会、松戸市教育委員会

SPONSORSHIP | 協賛
atré MATSUDO keiYO GAS

チケットはこちら
科学と芸術の丘公式サイト

matsudo 文・産 令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

創造の△

DELTA OF CREATIVITY

あなたは「△」を見て、何を思い浮かべますか？

三角形、三角州、ギリシア文字、数学の記号——あるいは「△」の“かたち”から、山や丘、おにぎりなどを思い浮かべる人もいるかもしれません。「△」は単純な形であるからこそ、見る人によって異なるイメージが立ち上がる、不確かで、ひらかれた存在です。白か黒か、正か誤か——はっきりとした答えではなく、そのあいだに揺れ動く問いや表現。私たちはそこにこそ創造の豊かさがあるのではないかと考えています。創造性を形にしていくことは、ときに国や地域、時間さえも越えていく力を持っています。未来が不確かで、答えのない時代だからこそ、それぞれが思い描く「△」を手がかりに、まだ名づけられていない未来をともに創っていきましょう。

AREA 01 戸定邸 TOJO-TEI

EXHIBITION

各国大使館との新たな連携や、世界的なメディアアートの文化機関、アルスエレクトロニカとともにキュレーションした、国内外のアーティストによる作品展示を行います。作品は戸定邸・松雲亭・戸定が丘歴史公園にてご覧いただけます。見るだけでなく、実際に体験できる参加型の作品も展示します。

※展覧会をご覧いただく際は科学と芸術の丘チケットが必要となります。
※プログラムは変更となる場合がございます。
最新情報は科学と芸術の丘公式サイトをご覧ください。



作品について

戸定邸 | TOJO-TEI

- 「INVISIBLES : 微生物たちの隠された世界」巡回展及びサテライト展示
NCCR Microbiomes, Musée de la main UNIL-CHUV (CH)
- Floral Whispers
Anca Benera (RO) & Arnold Estefán (RO/HU) in collaboration with Pavel Bráila (MD)
- Synthetic Memories
Domestic Data Streamers (ES)
- Rats in the City (都市のネズミ)
東京大学 DLX Design Lab、東京大学獣医動物行動学研究室、原啓義 (JP)
- 「とほく おもほゆ」KYOTO STEAM 国際アートコンペティション2022 制作作品
三木麻都 × 国立病院機構新潟病院臨床研究部 医療機器イノベーション研究室 石北直之* (JP)
*肩書きは2022年当時のものです

松雲亭 | SHOUN-TEI

- Life Ink Community
ワコム (JP)、TOA (JP)、Ars Electronica Futurelab (AT)

戸定が丘歴史公園 | TOJOGAOKA HISTORICAL PARK

- Tabemaru
東京大学 DLX Design Lab、東京大学応用昆虫学研究室 (JP)



在日スイス大使館・科学技術部協力

1

© Musée de la main UNIL-CHUV

オーストリア文化フォーラム協力



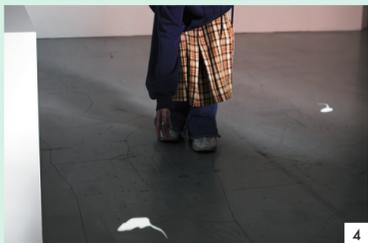
2

photo: Arnold Estefán

Ars Electronica Selection



3



4



5

photo: Mugyuda Hyogo



6

Ars Electronica / Magdalena Sick-Leitner



7

TALK

最新の科学と芸術に触れ、創造性を高めるトークを行います。現地観覧には科学と芸術の丘チケットご購入と合わせて、Peatixから別途お申し込みが必要です。オンライン視聴は「科学と芸術の丘 YouTube チャンネル」でライブ配信します。

※プログラムは予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

オープニングトーク | OPENING TALK

「科学と芸術の丘 2025 オープニングトーク」

10.25 11:00-11:15

松戸市長 松戸隆政 (予定)、松戸市議会議長 渋谷剛士 (予定)、科学と芸術の丘 共同創設者 清水陽子、科学と芸術の丘 共同ディレクター 岩澤哲野、科学と芸術の丘 共同ディレクター 海野林太郎



松戸隆政 (予定) 渋谷剛士 (予定) 清水陽子 photo: vogphoto 岩澤哲野 photo: Hajime Kato 海野林太郎 photo: Hajime Kato

WORKSHOP

創造性を引き出すワークショップを行います。ワークショップのご参加には Peatix からのお申し込みが必要です。

※プログラムは予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。



photo: Yoshiaki Suzuki

昆虫観察アウトドアワークショップ「科学と芸術の丘探検隊」

千葉大学大学院園芸学研究院 応用昆虫学 野村昌史研究室

10.25 10:30-12:00 / 10.26 10:30-15:00 ※参加費 500 円、要予約

通路やお庭などを見て回り、戸定邸内の昆虫たちを探し出す探検隊、今年も結成します。忙しく活動中の昆虫や冬越しの準備をしている虫たちを観察して、今の時期の昆虫たちの姿を浮かび上がらせませす。季節を惜しむように活動する種類や、冬を乗り切る準備に忙しい姿を探します。身近な場所で小さな自然と一緒に観察しましょう！雨天決行です。

おしゃべり鑑賞会 ~あなたの△(DELTA)を見つけよう~

あーとえきっぷ

10.25 13:50-14:30 / 14:40-15:20 / 10.26 10:30-11:10 / 14:00-14:40

※科学と芸術の丘チケットが必要です / 予約不要・先着順

何だろう、この感じ。科学と芸術の丘で展示された国内外のアーティストによる作品を、アート・コミュニケーションや、そこに集まった人たちと一緒におしゃべりしながら鑑賞しませんか。グループで2作品をじっくりみて楽しむ、40分のプログラムです。自分や誰かの言葉から、あなたの△(DELTA)が見つかるかもしれません。

MARCHE

クリエイティブな発想で活動するカフェやショップが出店する「丘のマルシェ」。戸定が丘歴史公園奥の美しい梅園でお楽しみいただけます。

※マルシェの開催は10:30~となります。
※チケットの購入有無関わらず、どなたでもご参加いただけます。



丘のマルシェ2025プログラム『ゆれる頁(ページ)』

丘のマルシェでは、出店者のみなさまへのインタビューをもとに、「言葉」と「写真」を印刷した布を会場内に配置し、全体を一冊の大きな本に見立てた空間を作ります。いくつもの布がレイヤーのように重なり合うことで、「一枚の大きな“ページ”」が立ち上がります。さらにこの“ページ”は、来場者のみなさまが介入することで、その場で意味や表情が変化します。出店者のみなさまの商品を「味わい」「手にする」だけでなく、その背景にある思いや考え方にもふれることができる。そんな、一体感のあるマルシェをお楽しみください。



詳細・予約

AREA 02 まち (松戸駅周辺) MATSUDO CITY AREA

CATALYST

科学と芸術の丘では、植物の受粉を介する蜂や蝶のように、ある状態を変化させたり何かを生み出すきっかけをつくる“触媒”となるイベント、人、ものを“カタリスト”と呼んでいます。



EVENT イベント(蝶) STAFF スタッフ(蜂) PRODUCT プロダクト(種)



CATALYST EVENT

△でつながる まちぐるり

2025年は「△」というテーマから着想を得た商品、サービス、作品の展示・販売を行います。「△」をどのように解釈し、形にしたか、その多様な表現がまちを彩ります。当日は「△」をめぐるスタンプラリーを開催！スタンプを集めた方には素敵な景品をお渡しします。未踏の地を描く「△」のように、新たなまちの可能性を拓く3日間。お楽しみに！



photo: Hajime Kato



photo: Hajime Kato

AREA | 各拠点について

AREA 01 戸定邸

メイン会場である戸定邸は、水戸徳川家11代当主・徳川昭武の私邸として1884年(明治17年)に建てられました。西洋技法を取り入れた庭園と、伝統的な大名屋敷の流れを汲んだ建物も、その歴史的価値が高く評価され、それぞれ国指定名勝、国指定重要文化財になっています。



戸定邸〈国指定重要文化財〉・旧徳川昭武庭園〈国指定名勝〉

AREA 02 まち (松戸駅周辺)

松戸のまちは、江戸時代に水戸街道と江戸川が交差する宿場町として栄え、現在では多様な背景を持つ人々が集まり、ともに暮らしています。科学と芸術の丘の開催に合わせ、松戸駅周辺ではカタリストと呼ばれる媒介者たちによる様々なイベントを実施します。まちを盛り上げ、新しい出会い・触発の機会に繋がることを期待しています。



AREA 03 松戸中央公園

この場所は「相模台」と呼ばれ、鎌倉幕府第6代執権・北条長時が岩瀬に城を築き、その後、北条相模守高時が居城としたという伝承に由来します。戦国時代の古戦場としても知られる相模台は、明治の終わりから大正にかけては競馬場が設けられました。その後、陸軍工兵学校、千葉大学工学部、公園と時代の中で様々な姿を変えてきた場所です。



詳細ページ